技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

日　時　令和８年２月 13 日（金）
第５校時　13:35～14:25
学校名
対　象　第１学年　組　　名
会　場　１年　組教室
授業者

１　題材名　「自立した消費者になるために」

２　題材の目標

(1) 購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解するとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。(知識及び技能)

(2) 物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。(思考力、判断力、表現力等)

(3) よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

３　題材の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ②　売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	①　物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	①　よりよい生活の実現に向けて金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

４　指導観

(1) 題材観

本題材は、中学校学習指導要領（平成 29 年３月告示）第２章　第８節　技術・家庭

C　消費生活・環境
⑴　金銭の管理と購入
ア　次のような知識及び技能を身に付けること。
(ｱ)　購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。
(ｲ)　売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。
イ　物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。

を受けて設定した。

今日では、キャッシュレス化の進行によって購入方法や支払い方法が多様化し、より便利に消費生活を行えるようになった。しかし、支払いまでの作業工程が無くなれば無くなるほど支出による痛みを感じにくく、無計画な物資・サービスの購入につながりやすい。また、情報インフラの普及によってＳＮＳと関連した消費者被害の低年齢化も進んでいる。そのような社会の中で自立した消

費生活を送るためには、消費に関する正しい知識を学び、持続可能な社会の構築などの視点に立って、物資・サービスの選択・購入を工夫できる力が必要であると考え、本題材を設定した。

(2) 生徒観

事前アンケートの結果から、「お小遣い帳をつけている」という生徒は約 30%であった。このことから、計画的な金銭管理に対する意識は低いことが考えられる。「現金以外の支払いをしたことがある」という生徒が約 64%であること、お小遣いやお年玉の使い道として「友達と遊ぶ」を選んだ生徒が約 62%であることからも、本生徒はキャッシュレス決済が身近になってきており、無計画にお金を消費しがちなのではないかと思われる。また、マイバックを持参して買い物をしているかどうかで「実践している」を選んだ生徒は約 71%であったが、環境に配慮した製品を購入しているかどうかで「実践している」を選んだ生徒は約 18%であった。このことから、環境への意識はあるが、物資・サービスの選択においてはあまり環境への配慮ができていないことも分かった。

このような実態を踏まえ、本題材では、計画的な金銭管理の大切さや持続可能な社会に向けた物資・サービスの選択について考え、学んだことを自分や家族の消費生活に生かそうとする意識を育む。

(3) 教材観

① 他の題材との関連

持続可能な社会の視点を養うために、前後の題材と系統性をもたせた。前の題材ではエシカル消費について触れ、環境を意識した衣生活について学んでいる。また、この後の題材では消費者の権利と責任について学び、環境や社会に及ぼす影響や責任ある消費行動について考えていく。これらのことを踏まえて、本題材では持続可能な社会の視点を踏まえた物資・サービスの選択について詳しく学べるような内容としている。

② ＷＥＢ教材や視覚教材の活用

ＩＣＴ機器を用いた商品購入の疑似体験を取り入れ、授業への興味・関心が湧き立つようにする。また、他の題材と比べて難しい内容が多いため、統計や動画などの教材を多く取り入れ、できるだけ目で見て分かるようにしている。

５　年間指導計画における位置付け（全 35 時間）

	題材名	時数
第１学期	Ａ家族家庭生活 「私たちの成長と家族・家庭生活」	３時間
第１学期 第２学期	Ｂ衣食住の生活　衣生活 「衣服の選択と手入れ」	10 時間
第２学期	Ｂ衣食住の生活　衣生活 「衣服を点検し、生活を豊かにするものを考えよう」	11 時間
第３学期	Ｃ消費生活・環境 「自立した消費者になるために」（本題材）	７時間
第３学期	Ｃ消費生活・環境 「消費者の権利と責任」	４時間

６　題材の指導計画と評価計画（全７時間）

	目標	○学習内容・学習活動	評価規準（評価方法）
第１時	物資・サービスの購入について問題を見いだし、課題を設定することができる。	○　自分や家族の消費生活を振り返り、物資・サービスの購入における課題を設定する。 ・　物資・サービスの購入における問題点を話合い、発表する。 ・　物資・サービスの購入に関する課題を設定する。	イ－①（課題解決カード）

第２時	購入方法や支払い方法の特徴、売買契約の仕組みについて理解する。	○　商品購入の疑似体験を通して、購入方法や支払い方法の特徴、売買契約の仕組みについて知る。 ・　ＷＥＢ教材を使い、商品の購入方法を疑似体験する。 ・　支払い方法と購入方法の種類や、利点と欠点についてまとめる。	ア－①(ペーパーテスト) ア－②(ペーパーテスト) ウ－①(振り返りカード)
第３時	持続可能な社会の構築などの視点を踏まえて、物資・サービスの購入ができる。	○　持続可能な社会の実現に向けて、物資・サービスの購入について考える。 ・　消費生活を取り巻く社会問題について知り、物資・サービスを購入する時に自分たちにできることを考える。	ア－②(ペーパーテスト) ウ－①(振り返りカード)
第４時 (本時)	物資・サービスの購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	○　目的に応じた物資・サービスの購入について考える。 ・　ＷＥＢ教材を使い、それぞれの目的に応じたＴシャツの購入を疑似体験する。 ・　どのような情報を収集・整理してＴシャツを選んだか話し合う。	ア－②（プリント）
第５時	計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。	○　どのように金銭管理をしたらよいのか考える。 ・　生活するために消費している物資・サービスを挙げ、必要性を考えて分類する。 ・　限られた家計の中で何を優先し、どう工夫すれば家族にとって必要なものを購入できるのか考える。	ア－①（プリント）
第６時	消費者被害の背景とその対応について理解することができる。	○　消費者被害の事例から、その対策について考える。 ・　中学生に多い被害を統計から確認する。 ・　消費者被害の動画からどのような被害があるのか、その手口などについて知る。 ・　消費者被害の事例を基に、自分たちにできることを考える。	ア－②(ペーパーテスト) ウ－①(振り返りカード)

第７時	課題を踏まえて物資・サービスの購入が工夫できる。	○　課題を踏まえてドライヤーの購入について考える。 ・　ＷＥＢ教材を使い、課題に応じたドライヤーの選択を疑似体験する。 ・　選択したドライヤーを発表し、目的に合っているか、満足度につながるかなどを話し合う。	イ－①（課題解決カード） ウ－①（振り返りカード）

７　指導に当たって

第３期の班テーマは「学びの意義に生徒がたどりつく授業づくり」である。本題材では、学ぶ意義を「自立した消費者となるために、持続可能な社会の構築などの視点を踏まえながら物資・サービスの選択・購入が工夫できる」ことに置き、生徒が学習の目的を自覚しながら主体的に取り組めるように以下の点を意識して授業を構成する。

(1) 自分事として考えさせるための工夫

ＷＥＢ教材を活用した商品購入の疑似体験を取り入れることで、実際の買い物の場面をイメージできるようにし、積極的に学習に取り組めるようにしている。また、内容のまとまりごとに自分の課題に生かせることは何かを振り返ることで、より自分事としての振り返りが行えるようにする。

(2) 授業形態の工夫

班活動を多く取り入れることで、様々な視点から物事を捉えられるようにしている。また、四人１班とすることで一人一人が活発に意見を出し合い、主体的・対話的な学びにつながるようにする。

８　本時（全７時間中の第４時）

(1) 本時の目標

物資・サービスの購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 （評価方法）
導入 ７分	○　商品を選択する時の基準を考える。 ・　自分がよく買う商品について、選択する時に重視する点をプリントに書き、全体で共有する。 ○　本時の目標を確認する。	・　全体で共有させることで、購入するものによって色々な視点があることに気付かせる。	
展開 35 分	○　目的に応じたＴシャツの購入について考える。 ・　商品購入のためには情報の信頼性を吟味することが大切だと知る。	・　目的を班ごとに決めることで、色々な意見が出やすいようにする。 ・　Ｔシャツに関する例を挙げ、この後の商品選択の活動につなげさせる。	アー② 商品の選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。（プリント）

	・　ＷＥＢ教材を使い、ワークシートに必要な情報を収集し、書き込む。 ・　収集した情報から、目的に合ったＴシャツを選ぶ。 ○　Ｔシャツを選んだ理由について考える。 ・　そのＴシャツを選んだ理由をプリントに記入する。 ・　班で理由を発表し、内容をメモする。 ・　目的ごとに理由を全体で共有する。	・　ＷＥＢ教材を活用することで、実際の買い物場面をイメージできるようにする。 ・　個人→班→全体の順で共有させ、情報の捉え方や購入目的によって選ぶ視点が変わってくることに気付かせる。	
まとめ ８分	○　振り返る。 ・　班活動や全体での共有を踏まえて、気付いたことやこれからの生活に生かしたいことをプリントに記入する。 ・　全体で共有する。	・　振り返りを通して、本時の目標に対しての実現状況を振り返る。	

(3) 板書計画

【今日の目標】商品の購入に必要な情報の収集・整理ができるようになろう！

１.商品購入で重視すること	２.商品情報の収集・整理	３.振り返り
・＿＿＿＿＿＿ ・＿＿＿＿＿＿ ・＿＿＿＿＿＿ ・＿＿＿＿＿＿ ・＿＿＿＿＿＿	班の意見を板書する	＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿

(4) 授業観察の視点

ア　発問、板書、資料提示が工夫され、適切であったか。

イ　授業者が説明する場面と児童・生徒が思考する場面の時間配分は適切であったか。